

さいたま市北部拠点宮原地区街路 実施設計・監理

所在地： 埼玉県さいたま市
発注者： 埼玉県さいたま市／(財)都市づくり
パブリックデザインセンター
期間： 2001～2003
道路延長： 加茂宮広路線 約 600m
さくら中央通線 約 725m
さくら北通線 約 500m
さくら東通線 約 280m
区画道路 総延長 約1,845m
業務概要： 修景設計・デザイン監理
設計内容： 舗装、植栽、ストリートファチャー（ベンチ、
ポラード）、照明設計
賞： 2004年彩の国景観賞
2004年 IWASAKI環境照明賞優秀賞
2005年都市景観大賞美しいまちなみ
特別賞

「公共空間デザイン指針」に基づき、民地内の施設整備にあわせて進められた道路の実実施設計では、民地側との調整を十分に図りながら、細部の設計が行われた。

特に、民有地の壁面後退部や出入口部の舗装は歩道との一体感と連続性を確保するよう、色彩、舗装材、舗装パターンの調整が図られた。「緑の杜」の創造を目指す当地区では、特に植栽計画においては、民地側の計画とも協調したものとなるよう、「まちづくり協議会」を介して樹種などの調整を行い、街路毎に中、高木の樹種、その配置、低木植栽の形状などを工夫し、質の高い緑の都市空間の形成を目指した。新しく整備される公共空間を地域の人々にとって親しみやすく愛着のあるものとするために地元の子供たちによる市民参加のプロセスが街路の整備と平行して取り入れられ、「みち・まち・みやらは」～みんなでつくろう絵タイルベンチ～として実現している。

